

# 国立大学病院臨床研究推進会議 第12回総会シンポジウム

— 社会基盤としての臨床試験体制の強化に向けて —

2024 **1/31** Wed.

13:30~16:35 Web開催

参加費無料

事前参加登録期限 **延期しました**

2024年 ~~1月24日~~ 17:00まで

**1月29日17:00**



◀ 事前参加登録はこちら



事務局  
国立大学病院臨床研究推進会議事務局  
〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学医学部附属病院内  
E-mail: suisin-office@umin.ac.jp

運営事務局  
株式会社キョードープラス  
〒701-0205 岡山市南区妹尾2346-1  
TEL: 086-250-7681 FAX: 086-250-7682 E-mail: shishinsympo@kwcs.jp

## 開会挨拶

田中 栄 (国立大学病院臨床研究推進会議 会長 東京大学医学部附属病院長)

## 第1部テーマ: 「マスタープロトコル試験の現状と課題」

座長: 永井 洋士 (京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 教授)  
清水 忍 (名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 准教授)

### 演題

1. マスタープロトコル試験の概念と世界の動向  
永井 洋士 (京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 教授)
2. マスタープロトコル試験の現状と課題 — 米国の状況 —  
山本 英晴 (日本製薬工業協会医薬品評価委員会 データサイエンス部 部会長 (中外製薬株式会社))
3. マスタープロトコル試験の現状と課題 — 欧州の状況 —  
上田 恵子 (European Clinical Research Infrastructure Network)
4. マスタープロトコルを使用した臨床試験  
小森 有希子 (医薬品医療機器総合機構 新薬審査第五部審査役)

## 第2部テーマ: 「わが国が直面するドラッグロス解決の糸口」

座長: 水野 正明 (名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 部長 病院教授)  
加藤 貴雄 (京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 臨床研究支援部 准教授)

### 演題

1. ドラッグロスの現状とその原因  
柏谷 祐司 (日本製薬工業協会薬事委員会 委員長 (武田薬品工業株式会社))
2. 治験中央倫理審査体制構築に向けた好機と障害  
山本 洋一 (大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部臨床研究センター 教授)
3. タスクベース・ベンチマーク型治験費用算定導入の必要性 — 世界から見た日本 —  
内藤 聡通 (R&D Head Club (MSD株式会社))
4. ドラッグロス解消に向けたAROの貢献の可能性  
水野 正明 (名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 部長 病院教授)

## 閉会挨拶

高折 晃史 (国立大学病院臨床研究推進会議 副会長 京都大学医学部附属病院長)